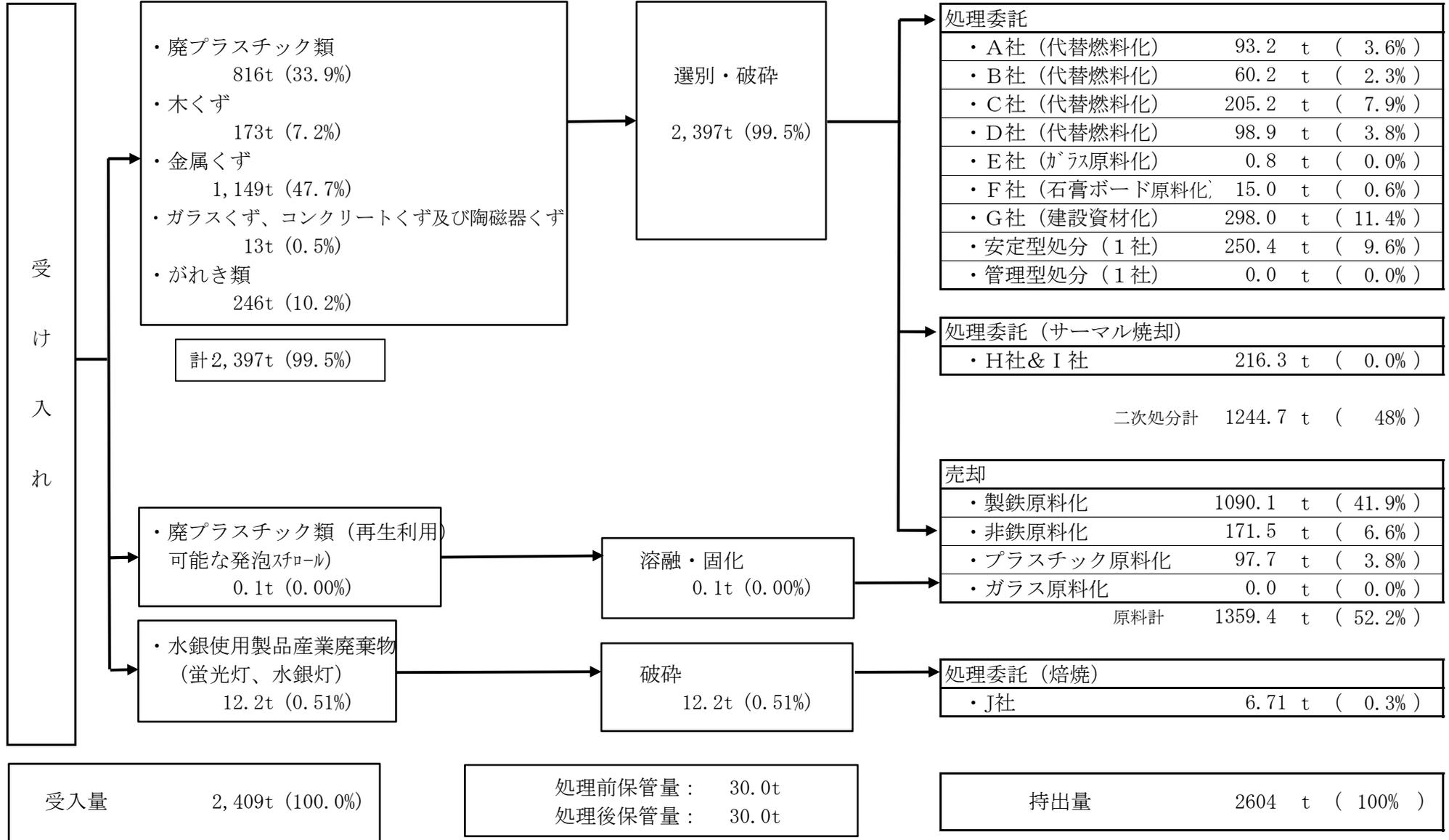


産業廃棄物の一連の処理の行程 (R5年4月～R6年3月)

2024年6月1日
 秦野金属株式会社



処理委託		
・ A社 (代替燃料化)	93.2 t	(3.6%)
・ B社 (代替燃料化)	60.2 t	(2.3%)
・ C社 (代替燃料化)	205.2 t	(7.9%)
・ D社 (代替燃料化)	98.9 t	(3.8%)
・ E社 (ガラス原料化)	0.8 t	(0.0%)
・ F社 (石膏ボード原料化)	15.0 t	(0.6%)
・ G社 (建設資材化)	298.0 t	(11.4%)
・ 安定型処分 (1社)	250.4 t	(9.6%)
・ 管理型処分 (1社)	0.0 t	(0.0%)

処理委託 (サーマル焼却)		
・ H社&I社	216.3 t	(0.0%)

二次処分計 1244.7 t (48%)

売却		
・ 製鉄原料化	1090.1 t	(41.9%)
・ 非鉄原料化	171.5 t	(6.6%)
・ プラスチック原料化	97.7 t	(3.8%)
・ ガラス原料化	0.0 t	(0.0%)
原料計	1359.4 t	(52.2%)

処理委託 (焙焼)		
・ J社	6.71 t	(0.3%)

受入量	2,409t (100.0%)
-----	-----------------

処理前保管量:	30.0t
処理後保管量:	30.0t

持出量	2604 t (100%)
-----	-----------------